

翻訳業界のリーディングカンパニーが業界基準を築く

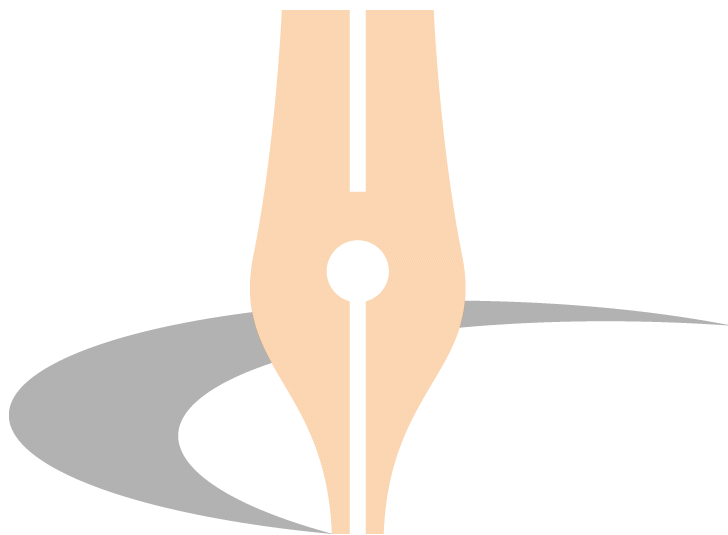
# 株式会社 翻訳センター 平成20年3月期決算説明会

<http://www.honyakuctr.com>

平成20年5月16日

大証ヘラクレス:2483

# I . 平成20年3月期実績



1. 概 要
2. 分野別動向
3. 言語別売上高
4. 登録翻訳者動向
5. 損益計算書
6. 貸借対照表  
・キャッシュフロー計算書

# 1. 概要

単位：百万円、%、円

	H19/3期	H20/3期	H20/3期		
			増減	伸率	期初予想
売上高	4,006	4,383	376	9.4	4,600
営業利益	400	403	2	0.7	400
経常利益	389	407	17	4.6	400
当期純利益	210	205	△5	△2.6	200
一株当たり純利益	16,510	15,786	—	—	

※本文中の百万円未満は、全て切り捨てて表示しております。

※US1ドル=117円71銭で換算しております。

- 医薬分野が全体の売上を牽引
- 米国子会社への先行投資負担により営業利益は微増

## 2. 分野別動向

### ① 売上高

単位: 百万円、%

	H19/3期		H20/3期			
		構成比		増減	伸率	構成比
特許	1,475	36.8	1,600	125	8.4	36.5
医薬	1,127	28.2	1,297	170	15.0	29.6
工業	934	23.3	968	34	3.6	22.1
金融	392	9.8	444	52	13.4	10.1
その他	76	1.9	72	△4	△5.3	1.7
合計	4,006	100.0	4,383	377	9.4	100.0

### ② 受注件数

単位: 件、%

	H19/3期		H20/3期			
		構成比		増減	伸率	構成比
特許	10,930	33.0	11,463	533	4.8	30.7
医薬	10,966	33.1	12,861	1,895	17.2	34.4
工業	7,710	23.2	8,898	1,188	15.4	23.8
金融	3,515	10.6	4,101	586	16.6	10.9
その他	47	0.1	75	28	59.5	0.2
合計	33,168	100.0	37,398	4,230	12.7	100.0

### 3. 言語別売上高(単体ベース)

単位:百万円、%

	H19/3期		H20/3期		
		構成比		伸率	構成比
英語	3,312	85.7	3,571	7.8	85.2
アジア系言語*1	163	4.2	201	23.3	4.8
ヨーロッパ系言語*2	158	4.1	177	12.0	4.2
その他	233	6.0	242	3.8	5.8
合計	3,866	100.0	4,191	8.4	100.0

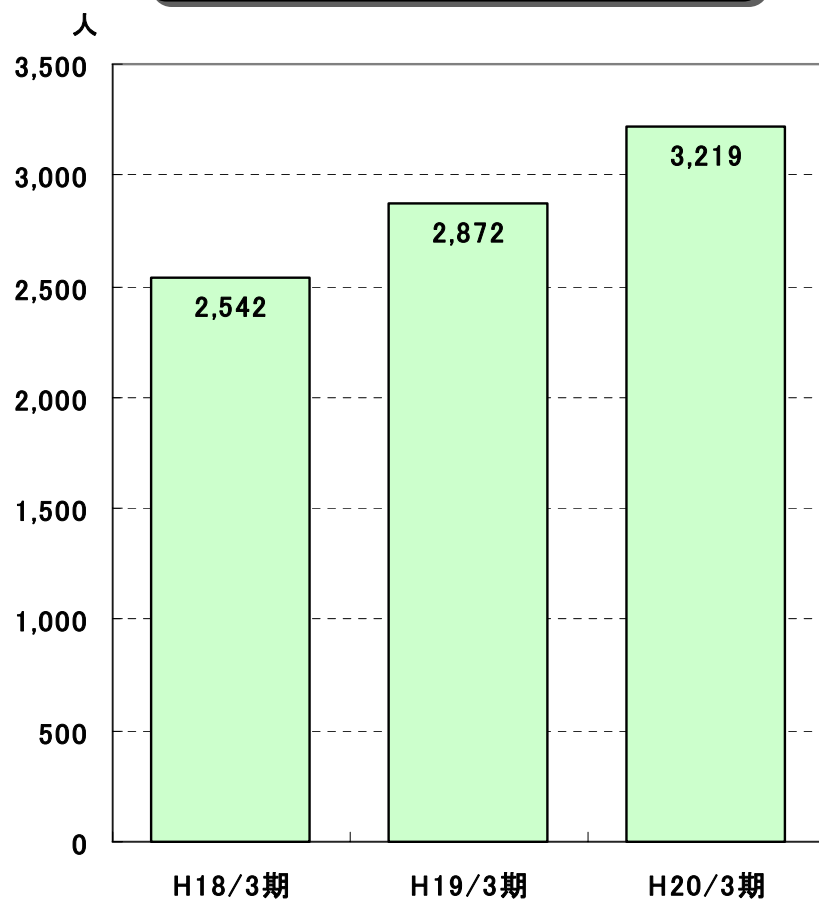
\*1 中国語・韓国語・タイ語・ベトナム語・ヒンディー語・インドネシア語など

\*2 ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語・ロシア語・ポルトガル語・オランダ語・北欧語・東欧語など

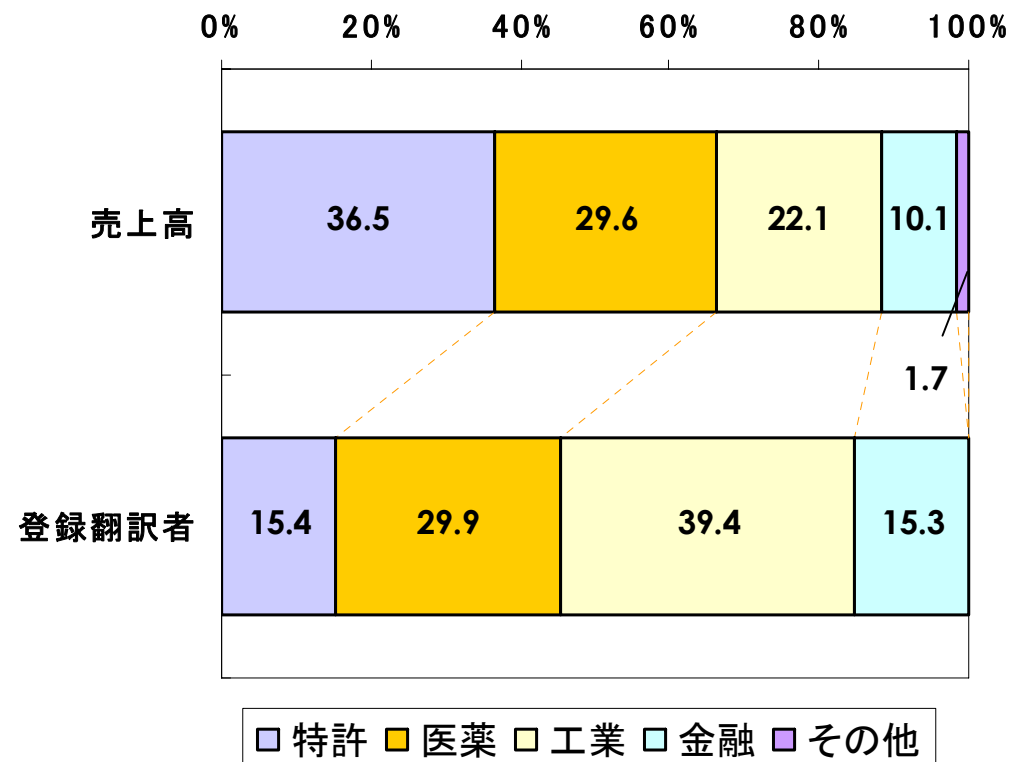
- 英語以外の多言語で17.8%の伸び
- アジア系言語では中国語、ヨーロッパ系言語ではドイツ語が牽引
- BRICs分類で21.4%増

## 4. 登録翻訳者動向

登録翻訳者数の推移



分野別登録翻訳者割合



## 5. 損益計算書

単位:百万円、%

	H19/3期		H20/3期			
		構成比		増減	伸率	構成比
売上高	4,006	100.0	4,383	376	9.4	100.0
売上原価	2,087	52.1	2,287	199	9.6	52.2
売上総利益	1,919	47.9	2,096	176	9.2	47.8
販売費及び一般管理費	1,518	37.9	1,692	173	11.5	38.6
営業利益	400	10.0	403	2	0.7	9.2
営業外収益	4	0.1	5	0	18.0	0.1
営業外費用	15	0.4	1	△14	—	0.0
経常利益	389	9.7	407	17	4.6	9.3
特別損益	0	0.0	11	11	—	0.3
税引前当期純利益	389	9.7	418	29	7.5	9.6
当期純利益	210	5.3	205	△5	△2.6	4.7

## 6. 貸借対照表・キャッシュフロー計算書

単位：百万円

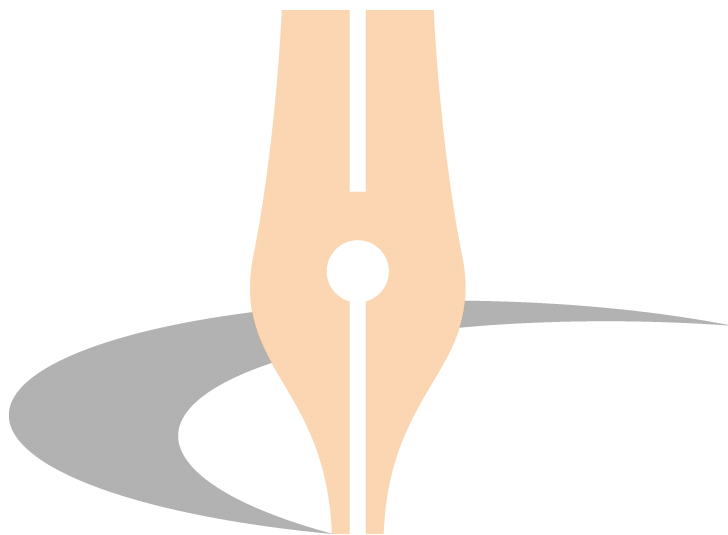
単位：百万円

	H19/3期	H20/3期	増減
(資産の部)			
流動資産	1,820	2,114	293
固定資産	286	243	△43
<b>資産合計</b>	<b>2,107</b>	<b>2,357</b>	<b>250</b>
(負債の部)			
流動負債	685	742	56
固定負債	117	120	3
<b>負債合計</b>	<b>803</b>	<b>863</b>	<b>59</b>
(純資産の部)			
I. 株主資本	1,304	1,497	193
II. 評価・換算差額等	0	△3	△3
<b>純資産合計</b>	<b>1,303</b>	<b>1,494</b>	<b>190</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,107</b>	<b>2,357</b>	<b>250</b>

	H19/3期	H20/3期	増減
税金等調整前 当期純利益	389	418	29
営業活動による キャッシュフロー合計	240	285	45
投資活動による キャッシュフロー合計	△83	7	90
財務活動による キャッシュフロー合計	347	△16	△363
現金及び現金同等物 の増加額	504	275	229
現金及び現金同等物 の期末残高	1,012	1,287	275



## Ⅱ. 平成21年3月期見通し



1. 概要
2. 分野別売上高(予想)
3. 損益計算書(予想)

# 1. 概要

単位: 百万円、%、円

	H20/3期	H21/3期 (予)	増減	伸率
売上高	4,383	4,900	517	11.8
営業利益	403	480	77	19.0
経常利益	407	480	73	17.9
当期純利益	205	250	45	21.9
一株当たり当期純利益	15,786	19,098		
一株当たり配当金	3,500	4,000		

※本文中の百万円未満は、全て切り捨てて表示しております。

※US1ドル=105円で換算しております。

■ 人員の積極採用など先行投資負担が生ずるも、米国子会社の収益改善により  
2桁増収増益を見込む

## 2. 分野別売上高(予想)

単位:百万円、%

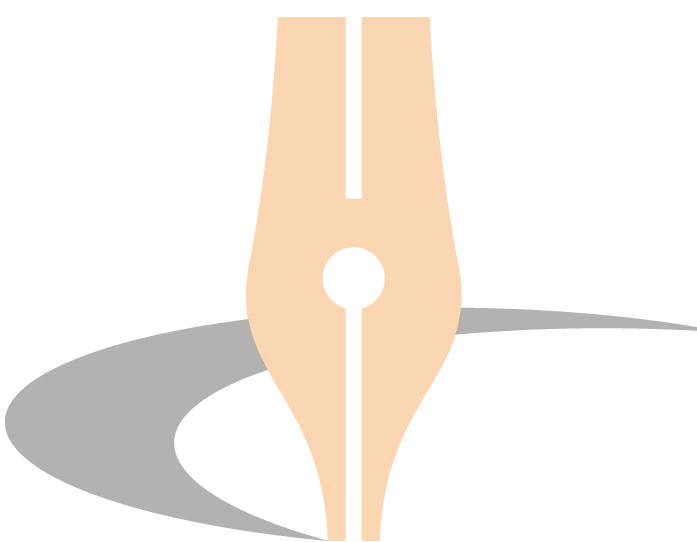
	H20/3期		H21/3期			
		構成比	(予)	増減	伸率	構成比
特許	1,600	36.5	1,780	180	11.3	36.3
医薬	1,297	29.6	1,450	153	11.8	29.6
工業	968	22.1	1,090	122	12.6	22.3
金融	444	10.1	500	56	12.6	10.2
その他	72	1.7	80	8	11.1	1.6
合計	4,383	100.0	4,900	517	11.8	100.0

### 3. 損益計算書(予想)

単位:百万円、%

	H20/3期		H21/3期 (予)			
		構成比	増減	伸率	構成比	
売上高	4,383	100.0	4,900	517	11.8	100.0
売上原価	2,287	52.2	2,550	263	11.5	52.0
売上総利益	2,096	47.8	2,350	254	12.1	48.0
販売費及び一般管理費	1,692	38.6	1,870	178	10.5	38.2
営業利益	403	9.2	480	77	19.1	9.8
営業外収益	5	0.1	—	—	—	—
営業外費用	1	0.0	—	—	—	—
経常利益	407	9.3	480	73	17.9	9.8
特別損益	11	0.3	△10	△21	—	△0.2
税引前当期純利益	418	9.6	470	52	12.4	9.7
当期純利益	205	4.7	250	45	22.0	5.1

## Ⅲ. 第一次中期経営計画の概要

- 
1. 上場後の成果と課題
  2. 市場環境
  3. 連結業績目標
  4. 重点施策
  5. 売上高 実績と予想
  6. 経常利益 実績と予想
  7. 世界TOP10入りを目指す
  8. 株主還元
  9. 翻訳センターの目指す方向性

## 1. 上場後の成果と課題(1)

### (1) コア・コンピタンスの深耕

- ① 主力事業領域: 特許・医薬・工業・金融の主力4分野の強化により、過去3年で年率13.7%成長
- ② 高付加価値サービス: メディカルライティングを展開
- ③ 営業戦略: メガファーマに対する集中購買化提案が奏功

→ 医薬分野では  
年率16%成長

### (2) 事業領域の拡大

- ① 営業地域の拡大: 米国子会社設立(H18年11月)
- ② 分野の拡大: メディアコンテンツ分野への展開
- ③ 他言語の展開: 中国語(日⇔中)の伸長

### (3) 収益基盤の強化

- ① 登録翻訳者の確保: 2,375人から3,219人へ(年率10.7%)
- ② 翻訳メモリ
  - ・用語集データベース(H19年9月より運用開始)

## 1. 上場後の成果と課題(2)

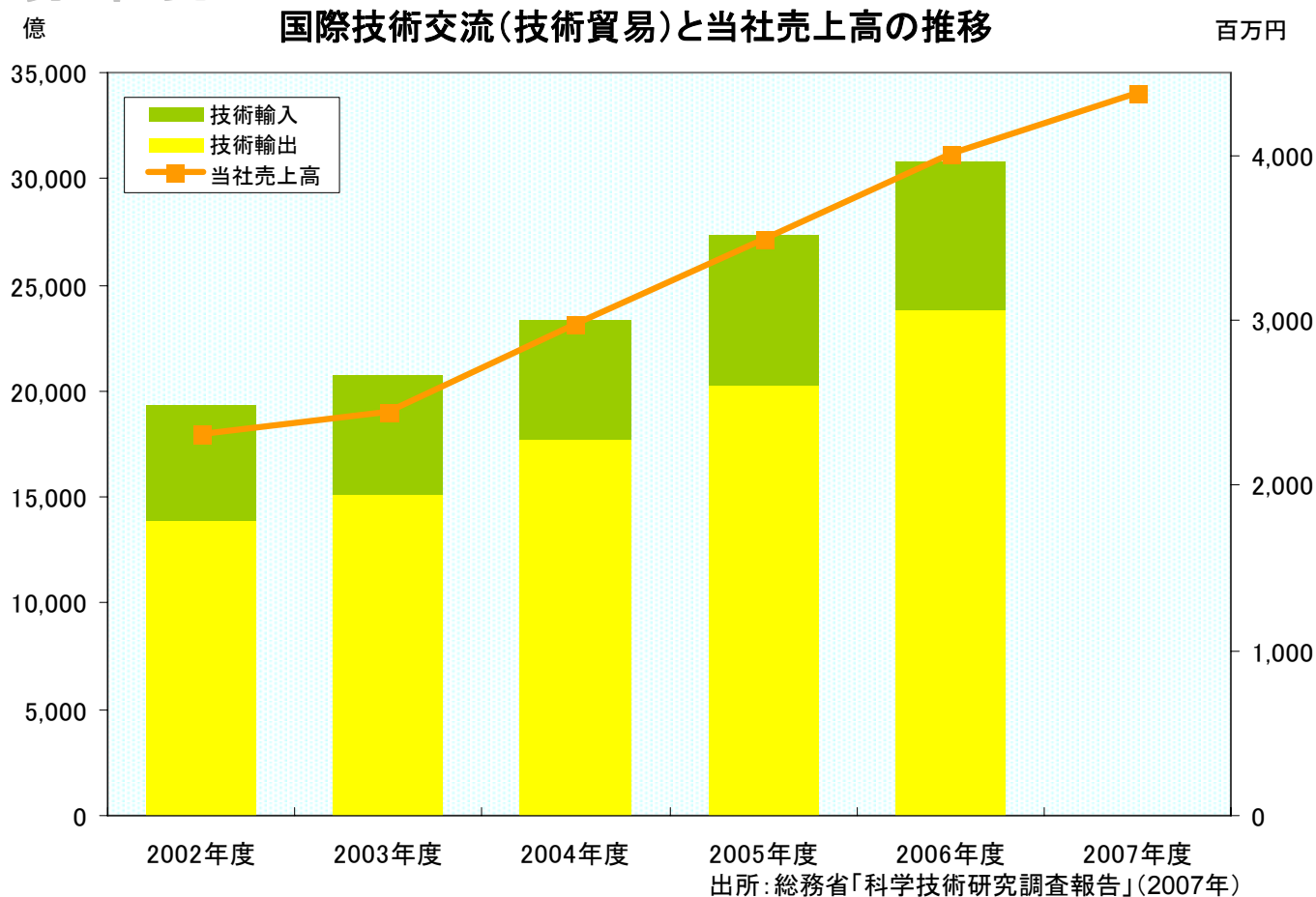
### 次なる課題

今後成長を加速していくためには、収益基盤のさらなる強化が必要

### 重点施策

- (1)「翻訳プラットフォーム」の構築
- (2)人材の増強
- (3)高付加価値サービスと集中購買化の促進
- (4)米国子会社の黒字化

## 2. 市場環境



- ・当社の売上高は技術の輸出入と相関性が高い
- ・産業翻訳市場(推定2000億)における当社シェアは2%強(平成20年3月期)
- ・今後の中期的な成長余地は大きい



### 3. 連結業績目標

単位：百万円

	H20/3期	H21/3期 (予)	H22/3期 (予)	H23/3期 (予)
売上高	4,383	4,900	5,650	6,500
営業利益	403	480	550	700
経常利益	407	480	550	700
当期純利益	205	250	310	400

成長スピードのさらなる加速を目指す

・3年間の年平均成長率

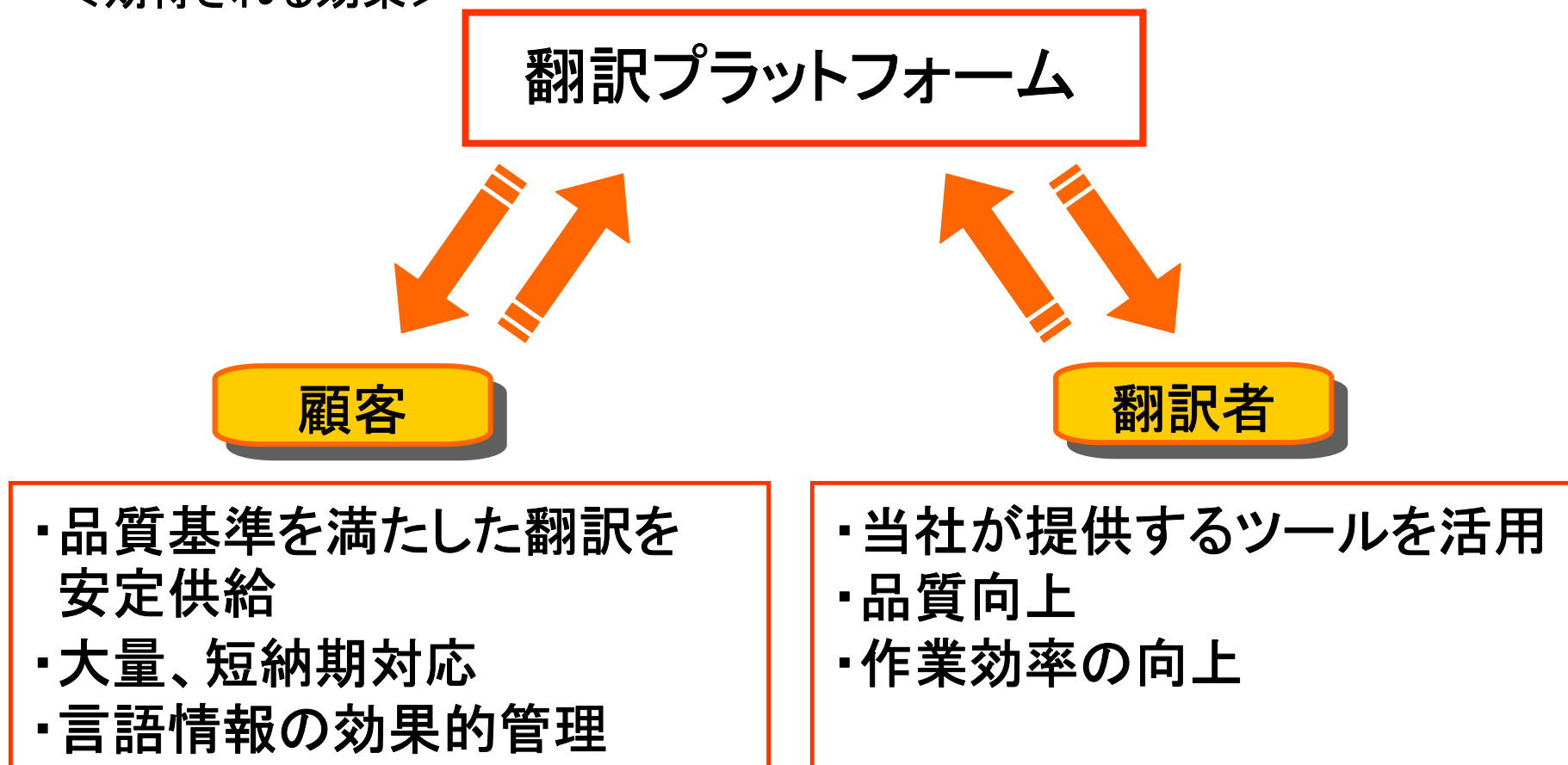
売上高13.7%→14.0%

経常利益13.4%→19.8%

## 4. 重点施策

### (1)「翻訳プラットフォーム」の構築

<期待される効果>



## 4. 重点施策

### (2) 人材の増強

#### 従業員数の見通し

単位：人

	H20/3期	H21/3期 (予)	H22/3期 (予)	H23/3期 (予)
従業員数	193	236	263	296

- ・H21/3月期は品質管理能力を増強(制作・校正中心)
- ・生産性向上を目的に人事制度改革に着手

## 4. 重点施策

### (3) 高付加価値サービスと集中購買化提案の促進

メディカルライティング

集中購買化提案

医薬分野では  
過去3年間で全体を上回る  
年率16.0%の売上成長

特許・工業・金融分野でも同様の戦略を促進

## 4. 重点施策

### (4) 米国子会社の黒字化

#### <概要>

会社名: HC Language Solutions, Inc.

設立: H18年11月(決算期: 12月)

所在地: カリフォルニア州フォスターシティ

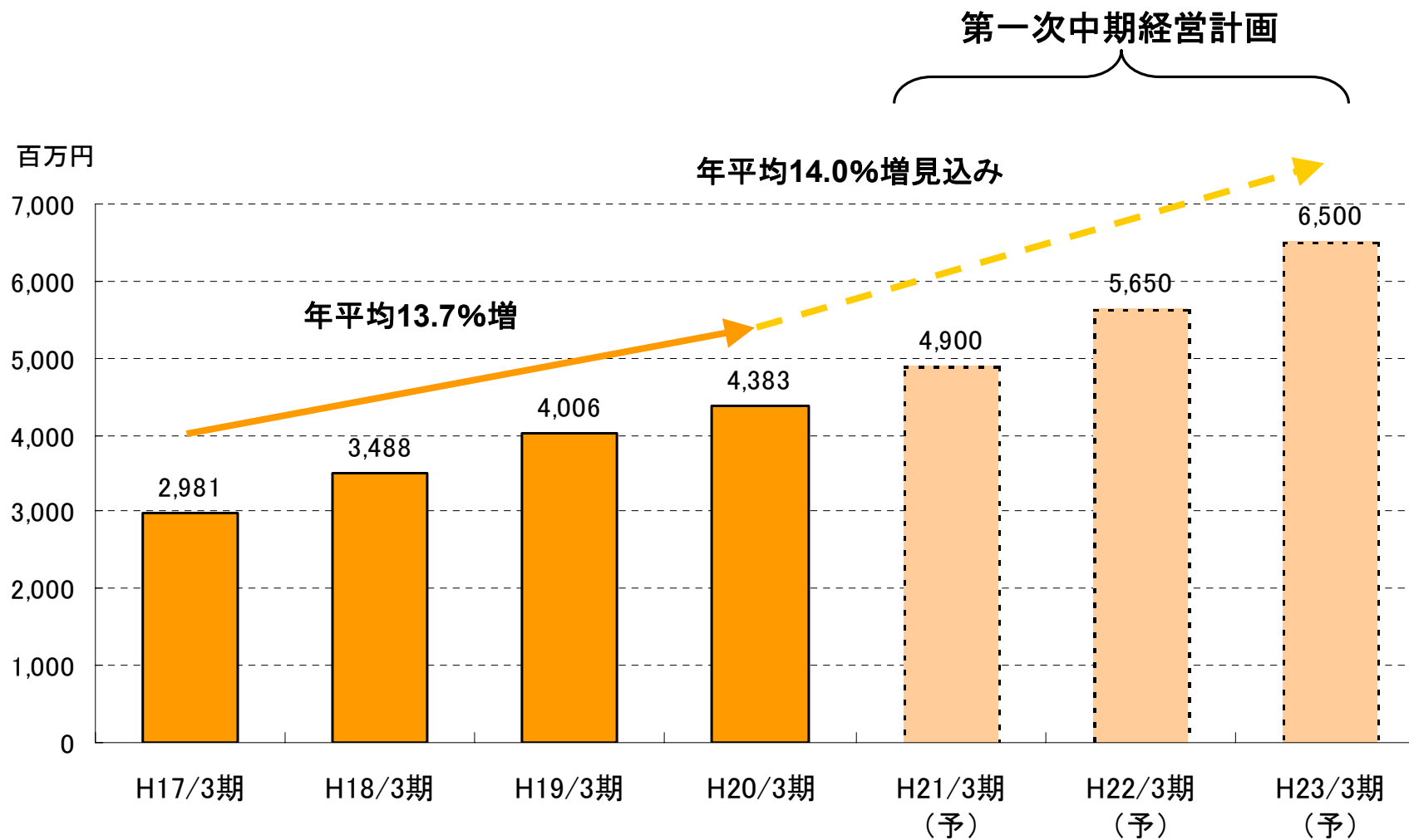
資本金: 100万USDドル

(翻訳センター100%出資)

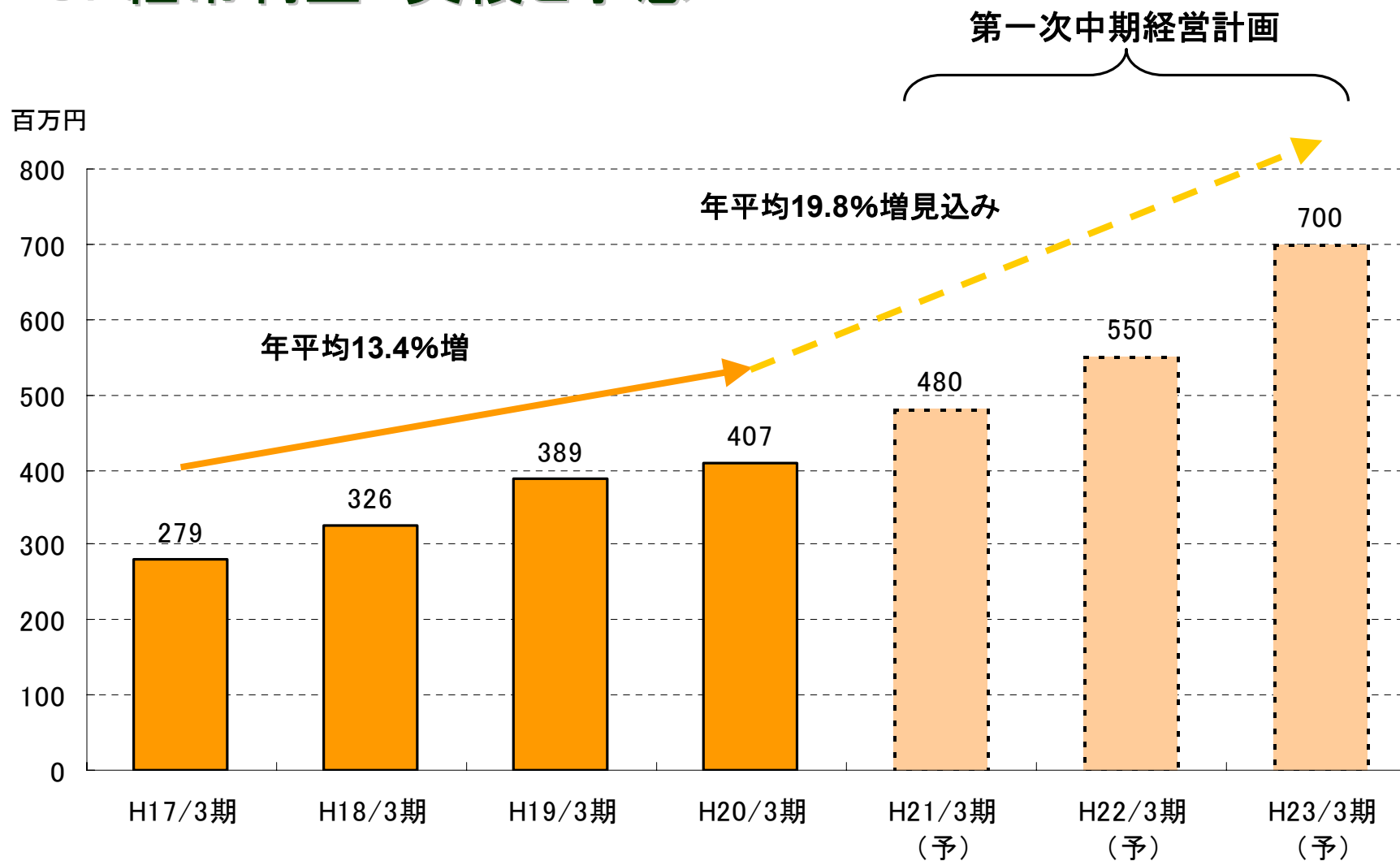


- ・MANGA、ゲームなどのメディアコンテンツ分野では一定の成果
  - ・在米日系企業に加え、米国企業もターゲットに顧客開拓
  - ・コストコントロールを徹底
- ➡ H21/12月期の黒字化を目指す

## 5. 売上高 実績と予想



## 6. 経常利益 実績と予想



## 7. 世界TOP10入りを目指す

語学ビジネス 売上高ランキング

(単位: 百万ドル)

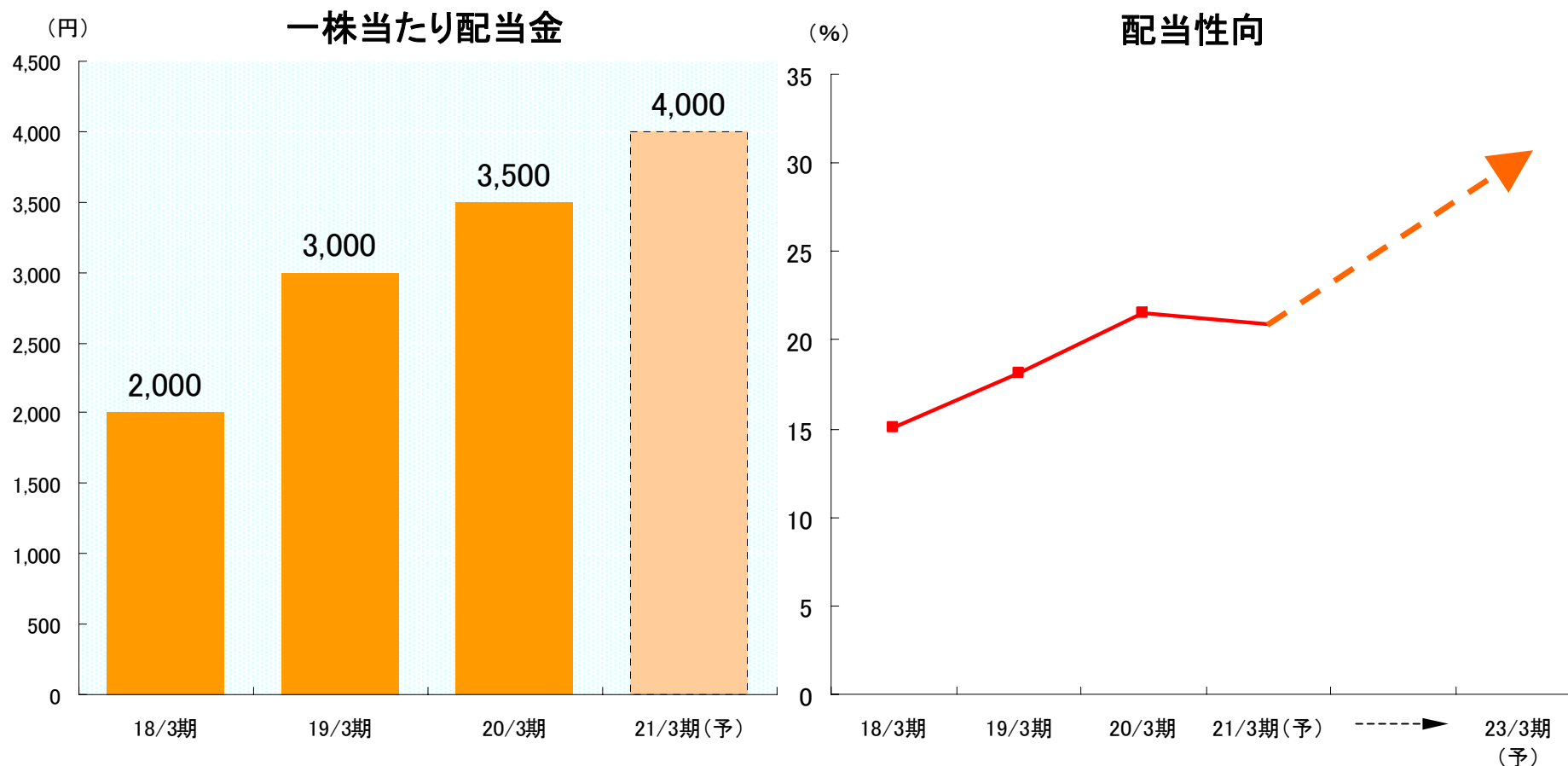
順位	社名	国名	売上高
1	L-3 Communications	米国	622.0
2	Lionbridge technologies	米国	419.0
3	SDL International	英国	174.5
4	Language Line Holdings	米国	163.3
5	TransPerfect/Translations	米国	112.8
⋮	⋮	⋮	⋮
10	Moravia Worldwide	チェコ	43.5
⋮	⋮	⋮	⋮
13	株式会社 翻訳センター	日本	32.6

Donald A. DePalma and Renato Beninatto, "Ranking of Top 20 Translation Companies for 2007",  
 Common Sense Advisoryを元に当社作成

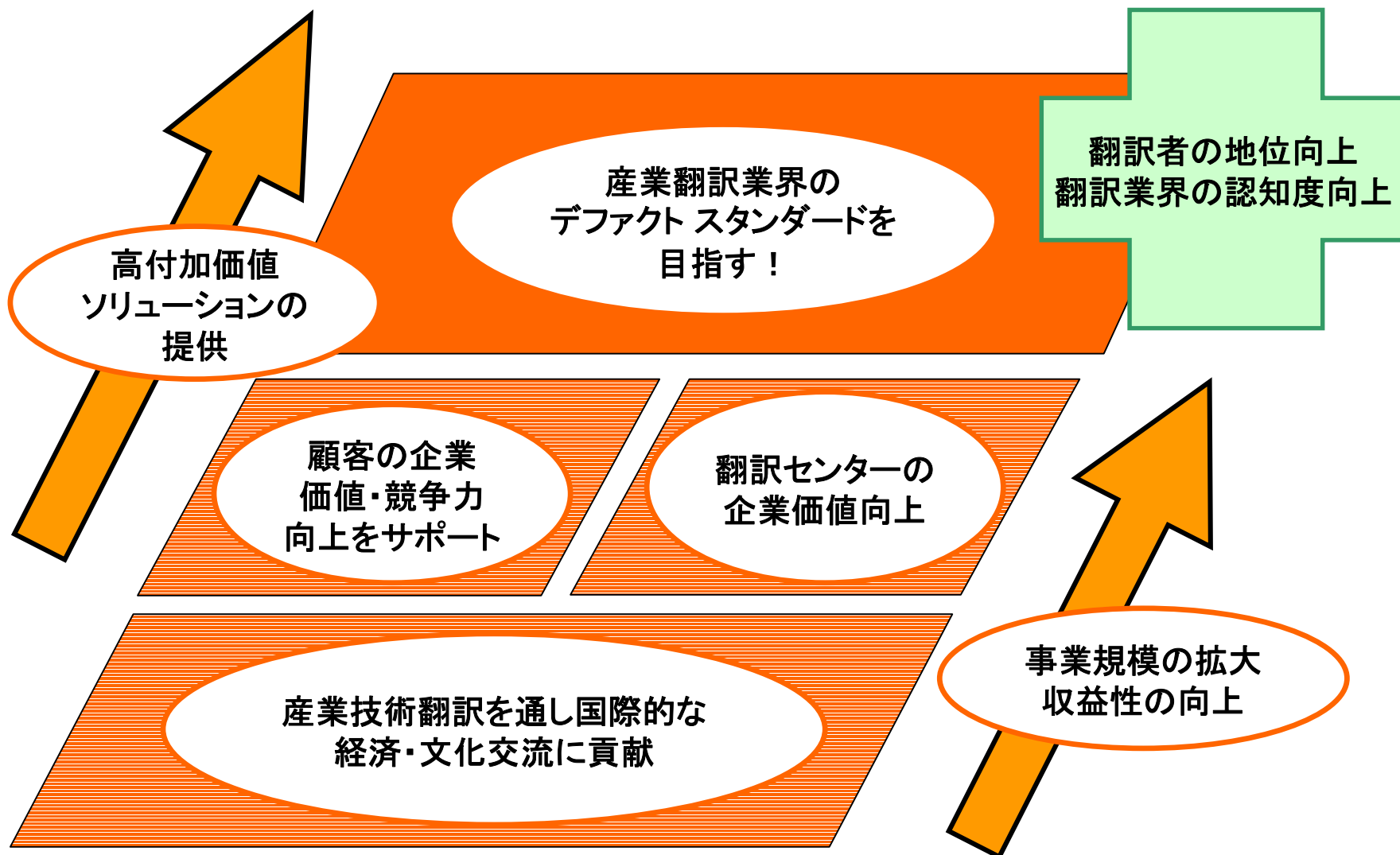


## 8. 株主還元

利益成長に応じた継続的な増配を目標としてまいります



## 9. 翻訳センターの目指す方向性



## 問い合わせ先

**担当:**

**経営企画室 敦巻(つるまき)**

**TEL:03-6403-9965**